

4-2. <指標から読み取れる成果と課題>

上水道については、老朽管が多い中、漏水調査により漏水箇所の早期発見が図られ、有収率を維持しています。下水道の水洗化率については、人口減少と高齢化による厳しい状況ですが、区域住民への理解を得るため、啓発活動を継続して行います。下水道事業による面整備に加え、合併浄化槽による汚水処理を推進します。

5. <施策全体の方針>

水道事業については、上水道と簡易水道を経営統合を進めました。水道設備台帳を整備し、老朽管の更新計画の策定を目指します。今後は、県域水道の一体化により、水道の広域化を検討します。下水道については、面整備に加え、合併浄化槽による河川の水質改善を進めます。

6. <施策を構成する事業の成果と課題（全体／主な取り組み）>

No	主な取組内容		水道事業の経営安定化を推進します。	
1	成果	平成29年4月上水道と簡易水道の統合し、料金体系も統一しました。	課題	老朽管更新に伴う更新費用の増加によって経営が厳しくなることが予想されます。
	次年度及び中長期的な今後の方針	飯貝浄水場は、老朽化し、更新時期を迎えています。施設更新には、多額の費用が必要になります。近隣自治体の水道からの供給を受けることも視野に入れ、経営の安定化、安全で安定した飲料水の供給を検討します。県域水道の一体化により、水道の広域化を検討します。		
No	主な取組内容		効率的な施設管理と水質管理を行います。	
2	成果	嘱託員による1上水道と9簡易水道の日常管理を問題なく進められました。	課題	水源の枯渇や水質の変化等により、飲料水の安全を確保と安定供給するには、人的負担が必要になっています。
	次年度及び中長期的な今後の方針	水道設備台帳を整備し、老朽管の更新計画の策定を進めます。また、施設の老朽化に伴う統廃合を検討します。さらに、安全で安定した飲料水を確保するため、高度な技術力と豊富な経験を有する水道管理の専門業者へ管理委託することを検討します。		
No	主な取組内容		下水道施設の接続を促進します。	
3	成果	人口減少と高齢化しているなか、下水道への接続する世帯への啓発を行いました。	課題	河川の水質の改善と生活環境の向上には、公共下水道を推進することは、重要課題であります。整備には多額の費用が必要になり財政負担の軽減を図ることが必要です。
	次年度及び中長期的な今後の方針	公共下水道による面整備に併せて、水洗便所改造助成金の周知や接続の勧奨を進めます。		
No	主な取組内容		下水道の維持管理を推進します。	
4	成果	老朽化しつつある下水道施設の適切な維持管理を行いました。	課題	下水道事業を開始して20年を経過し、施設の老朽化も進んでいます。ポンプ等の機械器具の更新も多くなり経費の増加が経営の安定化のマイナス要因になっています。
	次年度及び中長期的な今後の方針	老朽化しつつある下水道施設の維持管理を行い、トラブルの軽減を行います。また、下水道の整備済み区域において、1軒でも多くの世帯に加入いただけるよう啓発を行います。		
No	主な取組内容		合併浄化槽の設置を促進します。	
5	成果	人口減少と高齢世帯の増加等により、設置希望が減少する中、平成30年度には11基設置できました。	課題	河川水質改善と生活環境の向上を図るためには、合併浄化槽の設置を促す啓発が必要です。
	次年度及び中長期的な今後の方針	公共下水道の認可区域の見直し114haに変更。公的な施設周辺の増加によるもので、町の方針としては合併浄化槽設置事業を推進します。		
No	主な取組内容			
6	成果		課題	
	次年度及び中長期的な今後の方針			

7. <施策を構成する事業>

金額：単位（千円）

事業 No.	主な 取組 No.	事業名 ／担当課等／会計 【転記】	経費区分	事務事業評価【転記】				施策評価								
				H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (現予算)	総合評価	R2年度方針			短期的		中期的		補足事項 (優先度の考え方、各事務事業の方向性)	
				重点化	方向性	予算		予算	人件費	予算	人件費					
153		水道事業特別会計繰出金 財務課 一般	直接事業費	60,403	62,831	198,640	A	C	成果向上・費用縮小 ≡ 民間活力の活用、連携強化等	188,600	↓	→	→	→	☆事業No153：水道事業特別会計繰出金 簡易水道統合に伴う、町全体の水道事業の収支予測を行い、事業費の平準化や適正な水道料金の設定について、検討していく必要がある。また、県域水道一体化計画がスタートし広域化に伴う建設改良費の増加が予測される。 ☆事業No154：下水道事業特別会計繰出金 平成30年度で下水道事業経営戦略を策定し、適正な下水道料金の設定について、検討し健全な経営に取り組む。 ☆事業No155：農業集落排水事業特別会計繰出金 使用料算出方法について、見直す方向で検討する必要がある。 ☆事業No156：合併浄化槽整備事業 水質向上と生活環境の改善を図るため継続が必要である。 ☆事業No157：水道広域化業務 県域水道一体化の検討会議に継続的に出席する。	
			関与人件費	156	148	148	148			148						141,411
			うち一般財源	5,610	216	127,753	127,753			127,753						74
154		下水道特別会計繰出金 財務課 一般	直接事業費	178,642	151,370	149,537	A	D	成果・費用とも維持 ≡ 現状維持	141,411	↓	→	→	→		
			関与人件費	78	74	74	74			74						
			うち一般財源	178,720	151,444	149,611	149,611			149,611						
155		農業集落排水繰出金 財務課 一般	直接事業費	18,265	18,916	19,087	A	D	成果・費用とも維持 ≡ 現状維持	19,127	→	→	→	→		
			関与人件費	78	74	74	74			74						
			うち一般財源	18,343	18,990	19,161	19,161			19,201						
156	5	合併浄化槽整備事業 上下水道推進室 一般	直接事業費	4,554	4,531	11,328	A	B	成果向上・費用維持 ≡ 生産性向上	11,328	→	→	→	→		
			関与人件費	2,499	2,375	2,375	2,375			2,375						
			うち一般財源	1,779	1,507	4,894	4,894			4,894						
157		水道広域化業務 上下水道推進室 一般	直接事業費	0	0	0	A	B	成果向上・費用維持 ≡ 生産性向上	0	→	→	→	→		
			関与人件費	0	1,113	1,113	1,113			1,113						
			うち一般財源	0	1,113	1,113	1,113			1,113						
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
			直接事業費													
			関与人件費													
			うち一般財源													
施策コスト 合計			直接事業費①	261,864	237,648	378,592			360,466							
			関与人件費②	2,811	3,784	3,784			3,784							
			総費用③(①+②)	264,675	241,432	382,376			364,250							
			うち一般財源	204,452	173,270	302,532			298,532							
			関与人数(人)	0.35	0.48	0.48			0.48							